

『さっきゃま魂』

R5. 3.13 第18号

発行人：校長 中山 末永

放送日決定！

先日、NHK長崎より電話があり、放送日について次のような連絡がありました。

【放送日】3月19日（日） 午前 8：00～8：25

【チャンネル】NHK総合

【タイトル】『舞いあがれ！ ばらかもん ～前川清と島の子どもたち～』

早速、テレビの番組表で確認してみると、次のような紹介もありました。

「子どもたちに会いに来てください。」 来年3月で閉校する長崎県五島市立崎山小学校の校長先生の願いを叶えるため、歌手の前川清さんが学校を訪問。子どもたちとの交流を描く。

前川さんの訪問から、2週間ほどしか経っていませんが、なんとなくずいぶん前のことのようにも感じています。25分の番組の中に、子ども達の素朴で素直なところ・明るく元気なところなど、たくさんの良さが盛り込まれていることでしょう。

休日ですが、いつもより少し早起きして、家族みんなでテレビを見ながら、楽しい時間を過ごせたらと思っています。私は、すでに「録画予約」をしました。素敵な出合いを記録としてもしっかり残し、崎小の思い出として、いつまでも大切にしたいと思っています。

より良いものを目指して・・・

本日、卒業式の予行練習を実施しました。休み明けの月曜日、その上朝からの冷え込み、なかなか厳しい状況の中での予行練習でしたが、子ども達は、これまで練習してきたことをしっかり出し切り、明日が本番でも良いぐらいに仕上がっていました。

そのような中で、特に嬉しく思ったことをいくつか紹介します。

1つ目は、「卒業証書授与の時の6年生の表情」です。いつもここにこしている子ども達からは想像もできない、きりっと引き締まった表情をしています。証書を受け取る時の手が震えている子どももいます。言葉はなくても、子ども達の思いがひしひしと伝わり、私の手まで震えてしまいました。

2つ目は、「歌声の美しさ」です。別れの言葉の中で、在校生は『また会う日まで～春の朝～』卒業生は『旅立ちの日に』を歌います。在校生30名、卒業生10名の声とは思えないほど、温かい歌声が体育館いっぱい広がっていきます。別れの言葉が終わると、みんなで「校歌斉唱」、その力強い歌声は、より一層心に響き、改めて子ども達の頑張りや成長を感じることができました。40名で歌う校歌も、卒業式で最後になると思うと、ますます寂しい気持ちになりますが、きっと、卒業式でも「さっきゃま魂」のこもった歌声を聴かせてくれるだろうと思っています。

3つ目は、「声の大きさ」です。証書授与のときの卒業生の「返事」と「誓いの言葉」、全校児童の「別れの言葉」、大きな声を出すことが苦手な子どももいますが、それぞれが自分にできる精一杯の声で思いを届けようと頑張っています。

卒業式本番まで、残り4日となりましたが、子ども達には「4日間でも、まだできることがある。」と伝えました。卒業生の小学校生活のゴールが、感動いっぱいのものになるよう、最後までより良いものを目指して頑張っていきます。

